



# さくら

SAKURA

さくら第5号盛夏  
平成17年8月5日発行

## 国破れて山河あり、故郷忘じがたく候

院長 蜂谷 哲也



暑中お見舞い申し上げます。

暑さのみぎり、皆さまには、いかがお過ごしでしょうか。

今夏は、あの大東亜太平洋戦争の終結から、丁度、十干十二支でいう「一巡り」の60年の歳月を迎えたこととなります。昭和20年8月15日を、「終戦記念日」と表現するか、「敗戦記念日」もしくは「不戦平和記念日」とするかは、人々個人によって、その体験や人生観によっても、さまざまではあるかと思えます。「往く川の流れば絶えずして・・・」との古典に拠るまでもなく、幾年月・幾山河の日々は、何事もなかったかのように移ろいゆくものですが、私たち人間の現在と未来の生活・人生が、その自然と歴史に負うところが多く大きいだけに、過去の事実と体験を、私たち自身と家族、ひいては人間社会の多くの人々のためにも、活かさなければなりません。「賢者は歴史に学び、愚者は経験に知る」という警句に依らずとも、私たちは、一個人として、一国民として、また、人間世界に身を委ねる者の一人として、来し方の年月の事実を真実として学びとり省みる勇気を持って、今現在の日々の行動に映してこそ、明日への発展的な社会につなげ得るものであると思います。

時は今、世間は「郵政民営化問題」で、かまびすしい喧騒の朝夕ですが、政治とは元来、古今東西、「民意以上にはならないもの」であり、「お上(行政)白々しく、庶民したたか偉そうに、盗人猛々しき世なれば・・・」でもあり、また、「入り口、自由資本主義。出口は官僚・社会主義」と揶揄(やゆ)される日本国であればこそ、己自身を慎み、自らの責任において務めなければなりません。

去ること、2500年のいにしえ、釈迦牟尼佛陀は、その入滅に際して、愛弟子アーナンダ(阿難)に、ただ一言、「おこたらず、つとめよ・・・」と遺しました。

私たち、医療・介護福祉に携わる者として、「8月15日の万灯会」の新たな誓いとしたい、と夫々、己の心に願っております。

「怠らず、努めよ」と。

涼風  
「あさがほに  
つるべとられて  
もらひ水」



### 目次:

国破れて山河あり、 故郷忘じがたく候	1
とこしえの「知覧」にて	2
七夕飾り 「納涼の夕べ」お誘い	2
スタッフ紹介	3
投稿「千葉市大空襲体験記」	4
投稿「愛・地球博」	5
学会発表	6
さくら腎友会より	7
お知らせ 編集後記	8

## とこしえの「知覧」にて 戦後60年の日に訪ねて



特攻の士の銅像



時間余の出撃の前に仔犬を囲んで笑顔を見せる特攻隊の少年



特別攻撃機と特攻隊士の銅像  
(知覧特攻平和会館)

平成17年盛夏の8月、わたくしは、鹿児島大学医学部への出張の途次、薩摩半島南端にある「知覧」旧飛行場を訪ねました。知覧飛行場は、さきの大東亜太平洋戦争の末期の昭和20年に、陸軍の「特攻（特別攻撃隊）」の最前線基地となりましたが、現在はその跡に、慰霊の特攻平和観音堂と特攻銅像がたち、知覧特攻平和会館には出撃していった散華の隊士の遺品が展示されておりました。「特攻」というのは、ご存知のように、沖縄戦線でのアメリカ軍の艦船に対して、日本の戦闘機が搭載した爆弾ごと体当たりすることを目的として編成された航空攻撃隊のことです。第二次世界大戦の終焉にまつわる悲劇哀話は、戦地での玉砕(全滅;グアム島、サイパン島、硫黄島、アッツ島など)や、広島・長崎の原爆投下、中国満州での居留開拓民の惨劇と残留孤児の悲哀、シベリヤ捕虜抑留の刻苦など、数多くありますが、この特攻は、戦闘機による玉砕戦法であり、また、操縦するパイロットが、紅顔の17歳から20歳前後の若者が殆どであり、戦争戦時とはいえ、そして、国の為とはいえ、ただ一人敵艦に突っ込んでいく、そのさま、その悲し哀しさは、心が虚脱するほどに痛ましく、むなしく、また、遺書や遺品、写真を見るにつけ、本人家族の胸中を思うと、いたたまれなく、涙がとまりませんでした。今日の日本、自分たちの今あるのは、「特攻」を初め、大戦で亡くなられた数多くの人たちの「命」のおかげであることを忘れないではられません。

人の生命の尊さは、等しく同じものであり、その死は、誰にでもめぐってくるものであり、避けることは出来ません。しかし、生命のありかたについては、どうでしょう。私達に与えられた「生命・命」を、私たちは、自分自身のため、他人のため、社会のために、心して価値あるものにして生きていきたいものです。

### わずか百日の特攻作戦で陸軍1844名、海軍2535名の尊い命が失なわれました

- |               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| 「知覧特別攻撃隊」     | (写真・遺書・日記・手紙・記録・名簿)村永薫編・ジャブラン社 |
| 「今日われ生きてあり」   | 神坂次郎著・新潮文庫                     |
| 「特攻の町・知覧」     | 佐藤早苗著・光人社                      |
| 「月光の夏」        | 毛利恒之著・講談社文庫                    |
| 「華のときは悲しみのとき」 | (知覧特攻おばさん 鳥浜トメ物語)相星雅子著・高城書房    |

実話映画として「ホテル」(高倉健主演)があります

## 七夕飾り・「納涼の夕べ」のお誘い

七月七日、七夕さまの飾りつけを豪華にクリニックロビーの吹き抜けに取り付けました。患者さんや従業員のそれぞれの思いや願いを色とりどりの短冊にこめて、4メートルもの笹竹に飾りつけて、織姫さまと彦星さまの、年に一度の出逢いを待ちました。暑い夏を前に、この飾り付けを目で楽しんでこの夜は三々五々、小グループでの宴がもたれたようです。

8月27日(土曜日)16時から猛暑を惜しんで「残暑の宴」を行います。クリニック前庭の芝生広場に紅白の櫓(やぐら)も完成しました。(巻頭面の写真をご覧ください。少しモンゴル風にしてみました)

患者さん、その御家族、職員、大人も子供も皆さんで暑気を払って、実りの秋を迎えましょう。例によって焼きそば・カレーライスをはじめ氷水・ところてん、そして評判の金魚すくいも出店いたします。皆様お誘い合わせの上、ご参集下さい。18時から、音楽ライブも予定しております。



玄関ホールの七夕飾り

## スタッフ紹介

vol.3

今回は、透析室スタッフの特集です。  
患者さんのために心を鬼にして、つい厳しくなってしまう。

## 心臓に毛が生えて…?

看護部 馬場 佳子



私は、広島県立の看護専門学校を卒業し、就職しました。まだ気弱なNS1年目の初夜勤の日、夜の病院は、不気味で廊下は静かで足音だけ響いていました。ドキドキしながら巡視へ…患者さんの観察をしながら最後に奥の大部屋へ一歩入りかけた時、「ワー」と男性患者さんの叫び声に「キャー」と悲鳴をあげ、足がすくんでしまいました。先輩NSが飛んできて、患者さんたちと一っしょに注意されてしまいました。いろいろなエピソードをのりこえ、気弱な私も、心臓♡に少しずつ毛が生えたのでしょうか？ NSの仕事をすることができました。数年、育児をし、クリニックに就職し、最初は、「若いNSがきたよ」と紹介された私も、6年目に入りました。最近では、若いNSが増えてきて、「私って、もうオバサン化してる？」と焦っています。<もう、これ以上、心臓に毛が生えませんかように…>これからもよろしくお祈りします。

## ありがとう

看護部 勝 八重子

言うまいと、思えど今日の、暑さかな！なんて、でも「暑いですネー」って言ってしまいますよねー。

暑いと言えば、私の最初の介護の仕事は、入浴介護で、午前中30人位はお風呂で体を洗ってとても汗をかきました。でも一人のおじいさんが、手を合わせかすれた声で、「ありがとう」と言ってくれた言葉でこの仕事を、ずっとしていきたいと思いました。喜んで頂けると、私もうれしくなります。

介護ヘルパーになって約20年近くになりますが、「ありがとう」の言葉に励まされ、まだ介助させていただきたいです。どうぞ、よろしくお祈りします。



## こんにちは。

技士部 神谷 豪



こんにちは。毎日暑いですね。連日30℃以上の暑い日が続き、夏真っ盛り。僕は7月生まれというものあり、夏が好きです。夏には海、山、花火、夏祭り、バーベキュー、スイカ、カキ氷、せみの声と楽しいことが多く、夏バテなどしてる暇なく休日には、どこかしらに出向いています。皆様はどうお過ごしでしょうか。

臨床工学技士として、透析治療に携わっていますが、毎日の「おはよう。」「こんにちは。」「ありがとう。」「お疲れ様でした。」の一言を仕事のやりがいに感じ、頑張っていきたいと思えます。これからも宜しくお願いします。

## 辛さを乗り越えて

技士部 杉田 葉子

技士部で、ダイアライザーの組立て・プライミング、リハビリのお手伝い、中央材料室業務、etc、裏方でコツコツ頑張っています。

私の父が、五年前から要介護2となり、昨年他界し、母は、一昨年脳梗塞で倒れました。両親とも介護生活となり、私が働けたのも、ホームヘルパーの支援があったからです。仕事が終われば、母の入院先へ行き看病、家では、父の介護、そばに母がいなくなつてからは、私に当たり散らした父も最期は、涙を見せた。

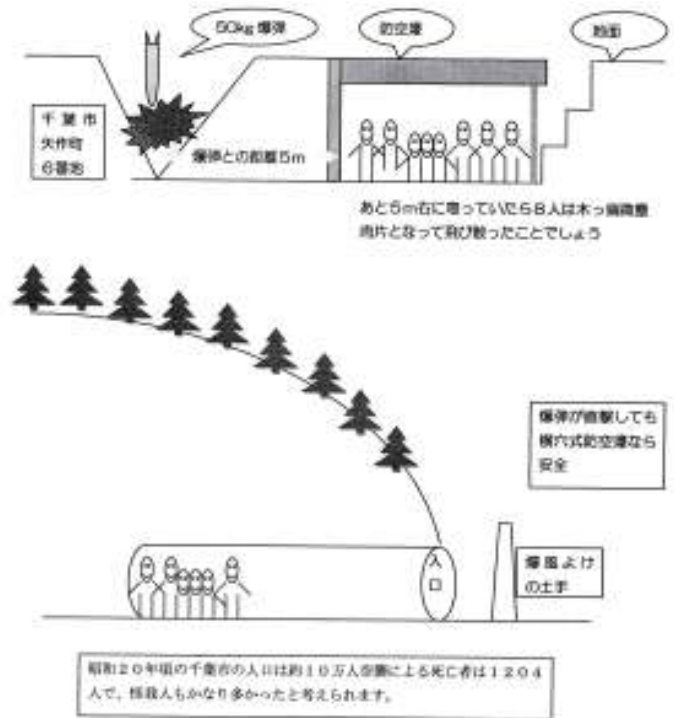
この三年間は、目の回る思いで仕事と介護、好きなママさんバレーも引退し、自分の顔を鏡で見てガックリ。そんな時、慰めてくれたのは患者さんです。毎回、透析に来なければならないと思うと、私も頑張らねば。これからも思いやりの心を持って、お役に立ちたいと思えます。よろしくお祈りします。





## 寄稿「千葉市大空襲体験記」

千葉市・都国民学校高等科1年生(今の中学校1年生)の時。昭和20年7月7日夜9時過ぎ空襲警報が鳴り、父が外へ出た。すぐ引き返し「今夜は千葉だ。すぐシャツを着て防空壕に入れ」と言う。この夜は暑かったので私共兄弟はパンツだけで寝ていたが、外に出ると照明弾をつけた落下傘がフワフワと青光りを放ちながら地上を照らしている。間もなく爆撃が始まりそちこちから火の手が上がった。赤ちゃんをおぶった女性に来て「防空壕に入れてくれ」と、言っている。父が「早く入れ」と言って中に入れた。キューンという爆弾の落ちてくる音がしてきた。「ドーン」という爆発がする。物置に火がついた。父が壕から出て行き母に消火を手伝えと言っている。母は2歳の弟を私に預けて「何があっても手は離してはならぬ」と言って壕から出て行った。「キューン」という音がしてきた。父母が「もう少しだ、もう少しだ」と壕から出たり入ったりして消火している。「ドン」というすごい音がした。私共兄弟4人と女性は肩を寄せて「今度はだめか？これで終わりか？」と恐怖のどん底でした。父が戻って来て「火は消し止めた。これから近所の火災消火に言うてくる」とふんどし一丁の姿で又出て行った。(父〔42歳〕は8月30日軍隊に行くように赤紙をもらっていた。兄〔18歳〕は志願兵で海軍館山の航空隊に入隊。その後、大分航空隊に移動。)父がいなかったら我が家も灰になっていただろう。爆撃がやんだので私は2歳の弟を10歳の弟に預けて近所がどうなっているかと壕から出て見に行ったら3軒先まで火事になっていた。火事の家と次の家との間は広く、「燃え移ることは無い。」と思って見ている時、胴の太いグラマン戦闘機が超低空で機銃掃射をしてきた。運良く当たらずにすんだ。壕に入り不安がる弟に「岡田さん宅が焼けているがこちらには間があるから燃え移ることは無いだろう」と言って聞かせた。夜が明け始めたころ天の恵みか、ものすごい大雨が降ってきた。この大雨でかなりの火災がおさまったと思います。敵機も去り雨もやんで父も母も壕に帰ってきた。恐怖の一夜を共にした女性も「家が焼けてしまったか、残っているかを確かめに行く」と礼を言って町のほうに帰っていきました。父が、母に「これからむすびを作って焼き出された人に持っていくんだ」と言っている。「もう安全だ。外に出て良い」と父が言うので、外に出て驚いた。防空壕から5メートルのところ50k爆弾が落ちて、すり鉢状にえぐられている。これが防空壕を直撃していたら、8人は全滅であった。20m先にも銀色の50k爆弾が転がっている。柔い所に落ちた爆弾は破裂しないのである。3軒先の岡田三郎さん〔16才〕は、伏せていたが爆弾の破片が腰に刺さり10m位吹き飛ばされたという。矢作町では、焼けた家15軒、亡くなった人加藤さん1名、怪我や火傷5名、長谷川クリーニング店では、不発弾が2階から突きぬけ1階の居間に刺さっていました。50k爆弾でした。朝食が済んでいた父は、警防団(警防団は今の消防団)の半纏を着て、「詰め所に行く」と



出かけた。10歳の弟が「水源橋から旭橋の間約1kmの川土手に大勢の人が亡くなった・・・みんな機銃掃射でやられたんだって」と見てきたことを言った。遊んだこともある亀岡町のガラス屋の長男もここで背中から腹に銃弾を受けて亡くなりました。10歳でした。私も行ってみようとして水源橋から旭橋の方を見たら、横たわっている人がたくさんいるが、これより先は恐ろしくて前に進むことはできなかった。家の前を兵隊さんが亡くなった兵士を担架に乗せていきました。「何処へ行くのでしょうか？」父が「こんな防空壕では役に立たぬ、家の前の山を借り横穴式の防空壕を作るから手伝ってくれ」と言うので、母とどるに砂を入れて外に出す作業をした。数日して横穴式の防空壕も出来上がり、これからは爆弾が直撃しても安心と思っていたが、1度も入ることなく8月15日の終戦となった。軍隊は解体となり8月末日に軍隊に入隊予定だった父に、役所から「行かなくて良い」と言ってきた。9月初めには兄も大分海軍航空隊から帰ってきた。横穴式防空壕を元に戻して地主に返した。都国民学校内では空襲による死亡怪我は無かったけれど、不発弾の先に付いている風車雷管を外そうとしてハンマーで叩き爆発・死亡:加曽利町1名、桜木町1名、大火傷:貝塚町1名出ました。〔12歳～14歳〕

2歳だった末弟も本年3月役所を定年となったが、恐怖に怯えた防空壕の中であまりに強く何度も何度も抱きしめたせいか、私より背が低くなりました。

戦後60年空から爆弾や焼夷弾、機銃弾の落ちてこない平和を永遠に願うひとりです。

平成17年7月25日 大野 昇(火木土 IIクール)

### 寄稿「愛・地球博」感想記

EXPO.2005.AICHI.JAPAN

自然の叡智をテーマに世界120カ国参加。  
5月7、8日私は長久手会場に行き参りました。  
最初に御骨折り戴きました諸先生、院長、看護師さんの方々に大変お世話になり、安心して見学出来ました事を御禮申し上げます。

早朝、東京駅発6:00新幹線乗車、名古屋駅下車。  
乗り継ぎシャトルバスにて長久手会場へ直通。  
詳しくは、公式WEBサイト協会公式ホームページ「<http://www.expo2005.or.jp/>」

愛・地球博の全容が解りますので、会場へ行く前にご覧になると役立ちます。会期中の最新情報及び会場内の画像全容が解ります。

バリアフリーのため障害者、高齢者、子供の皆様も安心して出掛けて下さい。

車椅子などはケアセンターにて無料貸出しています。  
日本国内では筑波万博、大阪万博人類の進歩と調和、今回の愛知万博自然の叡智。次回は中国に移り上海会場とか…。中国の高官が下見分に来日しましたが靖国神社参拝問題でドタキャン帰国になりましたね。

絶対に見たいトヨタのパピリオンは予約システムで確実に3~8時間待ちの時もあります。入場後すぐに整理券を取り、予約の時間までは比較的空いているグローバルコモン外国館を見るのが賢い選択です。世界各国料理、文化特徴を見学。地球環境汚染防止グローバル的未来の設計等は真っ先に見学したい。

地元豊田のBロボットと未来カーのパフォーマンスショーは感動一番！！三井・東芝館、日立グループ館、グローバルハウスのマンモス、総竹造りの日本館は環境に優しく涼しくて素晴らしい。土日祭日連休は混み合います。平日を選ばれると良いでしょう。多少なりとお役に立てば幸いです。

菅谷 重明(月水金IIクール)



オランダ館の6000万円の金貨

HB社パンフレットより

【学会発表】「手動回路内抜液の有用性と安全性」演者 さくらクリニック・臨床工学技士 櫻井美紀  
第50回日本透析医学会学術集会(H17.6.26 パシフィコ横浜にて)

1

## 目的

現在主流の生食置換返血は、返血時における安全性を考慮した反面、医療廃棄物の重量が増大してしまう問題がある。

近年、回路内抜液機能を有するコンソールがでてきたが、当院は回路内抜液機能を有しないコンソールを用いて回路内抜液を行い、その安全性、有用性について検討した。

2

## 方法

■ 返血方法の違いによる医療廃棄物重量の比較  
昨年から今年にかけて、返血方法を移行した際の医療廃棄物重量の比較を行った。

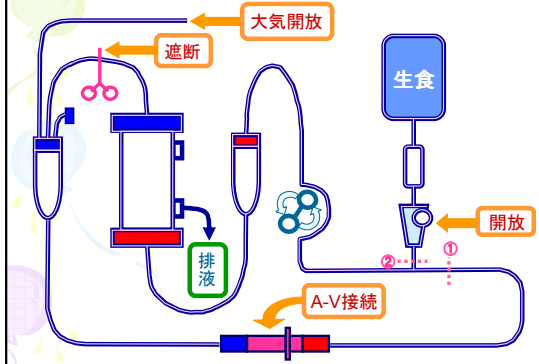
- ・エア返血（2004年1月～5月）
- ・生食置換返血（2004年6月～2005年1月）
- ・生食置換返血+回路内抜液（2005年2月～5月）

■ 手動回路内抜液における抜液効率の比較  
UFR、膜材質、回路内圧、血流量

※使用コンソール DCS-211,DCS-26,DBG-02

3

## 手動回路内抜液のフロー図



4

## 手動回路内抜液の操作手順

1. 返血終了後、A側ライン先端とV側ライン先端を接続する。
2. 静脈圧ラインを大気開放する。
3. ダイアライザ血液出口側～Vチャンバ間と①を遮断し、生食ラインは開放する。
4. 排液工程にし、血液ポンプを回す。
5. 生食ラインの抜液が終了後、②を遮断し、①を開放する。
6. 回路全体の抜液終了後、血液ポンプを止める。
7. カブラを取り外し、血液回路を廃棄する。

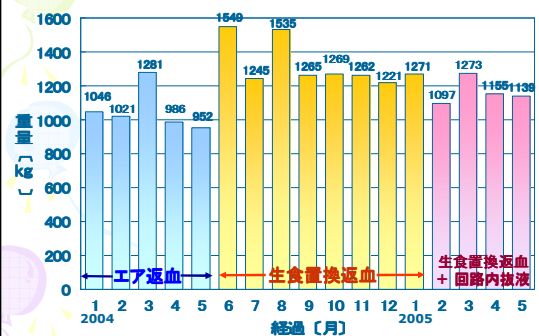
5

## 結果

- ・生食置換返血+回路内抜液を行うことにより、医療廃棄物重量はエア返血時に近い状態まで軽減することができた。
- ・UFR50ml/mmHg/hr以上のダイアライザは、血流量300ml/minでも過度な回路内圧の上昇もなく抜液可能だった。
- ・UFR20ml/mmHg/hr以下のダイアライザは、血流量100ml/minでも回路内圧が上昇し抜液効率が低かった。
- ・抜液効率は、膜材質よりUFRに影響を受けた。

6

## 医療廃棄物重量の推移



7

## 安全性の検討

- ・手動回路内抜液は、有人で行う。
- ・抜液は、ダイアライザの抜液効率を理解して行う必要がある。
- ・マニュアルを作成し、原理・危険性などを理解した上で行う。
- ・残血が認められる場合は、抜液を行わない。
- ・抜液後コンソールは、通液させる。

8

## まとめ

生食置換返血後の回路内抜液は、医療廃棄物重量の削減に有効な手段であるが、原理・安全性についてマニュアルを作成し、十分に理解した上で行う必要があると考えられた。



# さくら腎友会より

残暑お見舞い申し上げます。  
毎日、暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしですか、暑さに負けずに頑張ってください。  
腎友会では、この秋、下記の催しを行いますので、楽しみにしてください。

☆秋のバス旅行(10月中の日曜日を予定)  
行き先、その他の資料を検討中  
アイデア、要望等がありましたら、幹事までご連絡下さい。

☆さくら文華祭(10月17日～11月12日)  
「さくらクリニックと共催」  
日ごろ、芸術を楽しんでいる方の、力作の展示をお願いします。



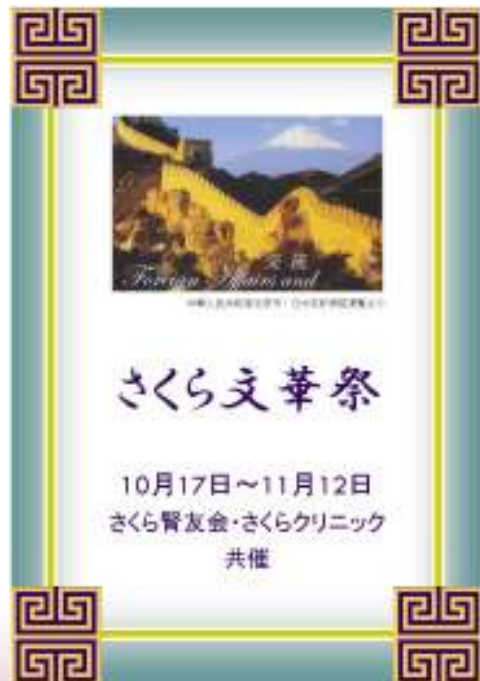
会長 瀬戸 義一

## さくら文華祭のお知らせ さくら腎友会 共催 さくらクリニック

今秋、11月3日(文化の日)の前後、約4週間に亘って患者の皆さんとその御家族、クリニック職員による文化芸術の催しを行う運びとなりました。皆さんからの絵画・写真・書道・刺繍・工芸・工作・生け花・川柳・俳句・和歌等なんでも結構ですのでお寄せ下さい。上手、下手は一切問いません。旅行写真とか思い出の作文・自慢の骨董品や珍品等の品々も是非展示させてください。特選賞などもれなく褒賞を用意いたします。奮って御参加下さい。



腎友会作成のポスター



クリニック作成のポスター

## クリニックからのお知らせ

- お盆(8/13~16)の送迎は通常通り行います。
- 6月1日より、クリニックさくら居宅介護支援事業所(ケアプラン作成)とクリニックさくら訪問介護ステーション(ヘルパー派遣による訪問介護)が正式に稼働いたしました。医療に限らず、介護の面に関しても、どうぞ遠慮なくご相談下さい。(医療情報室)
- 8月27日(土)猛暑を惜しんで「残暑払い納涼の宴」を行います。子供も大人も「浴衣・下駄履き・うちわ」でどうぞ多数いらしてください。  
16:00~18:00、出店  
氷水・ところてん・焼きそば・カレーライス・金魚すくい等  
18:00~20:30、アーティストによる音楽ライブの予定
- 9月17日(土)17時より、「お月見の宴」を当クリニック屋上で行います。例年のごとく、ジンギスカン鍋を予定しております。多数、ご参集下さい。
- 第11回さくら高爾夫会・秋のゴルフコンペのお知らせ  
11月6日(日)丸の内ゴルフ倶楽部にて開催します。  
初心者から上級者まで多数のご参加お待ちしております。



### ● 診療時間

月水金 7:30~22:00  
火木土 7:30~16:00

### ● 医師担当表

	月	火	水	木	金	土
I	鈴木 蜂谷	鈴木 蜂谷	鈴木 蜂谷	蜂谷	蜂谷	鈴木 蜂谷 深沢
II	鈴木 蜂谷	鈴木 蜂谷	鈴木 蜂谷	蜂谷	蜂谷	鈴木 蜂谷 深沢
III	鈴木 蜂谷		鈴木 蜂谷		蜂谷	

## 編集後記



発行：医療情報室  
編集部員：橋本 和政  
三澤 道夫  
粟飯原成一  
横田 光司  
額賀 裕子  
鎌田美穂子

「暑い夏」、例年になく暑い今夏は、郵政解散による衆議院議員選挙を9月11日に控え、文字通り日本国中がヒートアップしている毎日です。今号は、60回目にあたる8月15日の「終戦記念日」を迎え、二編の戦争にまつわる話や、愛知万博の感想記など盛り沢山で、読みごたえがあります。寄稿ありがとうございました。

来る8月27日(土)には、夕刻から、当クリニックの野外前庭において患者さん、ご家族、近隣の住民の方々と共に納涼の夕べを楽しみたいと計画いたしました。スタッフは、いま、準備におおわらわです。出店はもちろん、今回初めての試みとして野外音楽ライブも予定しております。皆さま、お揃いでどうぞ。残暑厳しき折、どうぞ御自愛を。

## さくらクリニック

腎臓内科・一般内科・外科・在宅医療  
人工透析(HD・HDF・CAPD)  
生活習慣病相談・リハビリテーション訓練  
外来透析65床・入院応需19床

〒284-0001  
千葉県四街道市大日593-1  
電話 043(424)1211  
FAX 043(424)1007

顧問 医学博士 深沢 規夫  
院長 医学博士 蜂谷 哲也  
診療部長 鈴木 俊彦

クリニックさくら居宅介護支援事業所(ケアプラン作成)  
クリニックさくら訪問介護ステーション(ヘルパー派遣)

〒284-0001 千葉県四街道市大日515-3  
サニービル103号  
電話&FAX 043(424)3075